

日本地理学会 2011 年春季学術大会公開シンポジウム

主催：日本地理学会 災害対応委員会・ジオパーク対応委員会

「ジオパーク，ジオツーリズムと地理学」

日時：2011 年 3 月 29 日（火）9:00～16:00

会場：明治大学 駿河台校舎

第 2 会場（リバティタワー 3 階 1032 教室）

〒101-8301 東京都千代田区神田駿河台 1-1



オーガナイザー：日本地理学会災害対応委員会（平井幸弘・青木賢人・尾方隆幸）
日本地理学会ジオパーク対応委員会（菊地俊夫・目代邦康）

9:00～12:00

第 I 部 「ジオパーク，ジオツアーを防災教育にどう活かすか？」

■趣旨説明 平井幸弘（駒澤大）

基調講演 小泉武栄（東京学芸大）

「ジオパーク，防災教育，地理教育」

■実践事例

- 青木賢人（金沢大）白山手取川ジオパーク構想における水害・砂防の位置づけ
- 宮城豊彦（東北学院大）地すべり地形のジオパーク化を構想する視点
- 岩田修二（立教大）防災工事が破壊する上高地での活動
- 岡田篤正（立命館大）地震断層の保存と「活断層百景」・「フォトコンテスト」
- 澤田結基（産総研）ジオツアーと博物館：防災研究と市民のインターフェース
- 尾方隆幸（琉球大）石灰岩地域のジオツーリズムと防災教育

■総合討論「ジオパーク，ジオツアーと防災教育」

13:00～16:00

第 II 部 「ジオパークの現状と課題」

■趣旨説明 目代邦康（自然保護助成基金）

■各地のジオパークからの報告

- 大野希一（島原半島ジオパーク事務局）ジオツーリズムの実例と課題—島原半島ジオパークの例—
- 竹之内耕（糸魚川市ジオパーク推進室）糸魚川におけるジオツーリズムの現状と課題
- 柴田伊廣（室戸ジオパーク推進協議会）市民が気づきはじめたジオパークの魅力と課題
- 八幡浩二・野辺一寛（隠岐ジオパーク推進協議会）隠岐におけるガイド養成とジオツアーについて
- 熊谷 誠・堀嶋英俊（遠軽町総務部ジオパーク推進課）白滝ジオパークの現状と課題
- 天野一男（茨城大）茨城県北ジオパーク構想における大学の役割

■コメント 渡辺悌二（北海道大）ジオパークにおけるガイドの養成とその課題

■総合討論

お問い合わせはこちら

【お問い合わせ】日本地理学会事務局

TEL 03-3815-1912 FAX 03-3815-1672 e-mail office@ajg.or.jp

入場無料

どなたでもご参加頂けます